

令和5年 3月定例会

「育都」^{※いくと}未来を見据えた令和5年度当初予算を可決

あらまし

令和5年3月定例会は、2月27日から3月24日までの26日間の日程で開催されました。市長専決処分の報告と承認が2件、農業委員会委員、教育委員会委員等の人事同意案件が4件、新年度予算議案10件、そのほか条例の制定・改正、補正予算等、市長から提出された議案28件、議員提出議案1件が上程され、一部を除き各常任委員会で慎重に審査・審議を行いました。令和4年度一般会計補正予算（第15号）は否決、令和5年度一般会計予算は修正可決、そのほかの議案は原案のとおり可決しました。

市長専決処分の報告と承認について

昨年12月から開始した電子地域通貨「渋Pay」の普及促進を図るため、アプリダウンロードポイントを付与するための補正予算や、出産・子育て応援ギフトとして対象者に「渋Pay」ポイントを付与するための補正予算を市長専決処分した旨の報告がありました。すべて承認しました。

渋川市事務分掌条例の一部を改正する条例

組織機構の見直しに伴い、「市長戦略部」を「総合戦略部」に、「総合政策部」を「情報防災部」に、「スポーツ健

康部」を「育都推進部」に改める等の改正です。賛成多数で可決しました。



新設された子ども支援課

渋川市公園条例の一部を改正する条例

石原高源地公園が市に帰属されたことに伴い、条例

に追加するための改正です。全員一致で可決しました。

例 渋川市犯罪被害者等支援条例

犯罪被害者等支援に関する施策を総合的に推進するため、制定するものです。全員一致で可決しました。

農業委員会委員の任命同意

農業委員会委員の辞任に伴い、後任に石田恵治氏を任命するものです。全員一致で同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の任期が令和5年6月30日満了となるため、引き続き平形清恵氏

を推薦するものです。全員一致で同意しました。

教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員の任期が令和5年5月19日満了となるため、後任に原澤弘子氏を任命するものです。全員一致で同意しました。

令和4年度一般会計補正予算（第15号）

物価高騰による家計負担の軽減及び市内経済の活性化を図るため、市内加盟店で使用できる3000円分の「渋Pay」カードを全市民に配布する等の補正予算です。議員から、税金を投入するのであれば、市民に

優しいサービスをスピーディーに提供すること、「渋Pay」カードを有効に活用するために、カードは使い切りではなく、チャージ型にすべきとの反対討論がありました。賛成少数で否決しました。

令和5年度予算

令和5年度一般会計予算は、一部の事業予算について議員から修正案が提出され、修正可決しました（修正内容は6ページに掲載）。そのほか、国民健康保険等の特別会計予算や事業会計予算はすべて原案のとおり可決しました。

常任委員会の審査

総務市民

審査結果 付託された7議案は、すべて多数決または全会一致で可決しました。

茨川市事務分掌条例の一部を改正する条例

組織機構の見直しに伴い改正するものです。

質疑 毎年、部や課の名称変更があるが、今回どのような流れで提案されたのか。

答弁 各所属から人数配置や要望等を聞いたり、次年度にどのような政策を進めていくかなどの検討をしたりする中で整理しています。

質疑 総合戦略部に今までの市長戦略部の業務のほか、財政等の業務も加わるが、一つの部に市の重要な権限を集中させたのはなぜか。

答弁 また、各部署の意見が軽視されてしまうのではないかと、政策を実行するため

に財源と一体的に検討を進めることで、より迅速に整理できるためです。また、庁議等で各部署の意見を出しているので意見が通じづらいことはないと考えます。

茨川市犯罪被害者等支援条例

犯罪被害者等の支援を推進するための条例制定です。

質疑 犯罪被害者等の支援を総合的に行う窓口はどこに設置されるのか。

答弁 窓口は情報防災部の危機管理室に設置予定です。

経済建設

審査結果 付託された9議案はすべて全会一致で可決しました。

茨川市建築基準法関係係数料条例の一部を改正する条例

国の法律改正に伴い変更

するものです。

質疑 災害時の応急仮設建物の建築許可期間は2年3

カ月であるが、改正によって、届け出をすれば許可期間が延長可能になるのか。

答弁 2年3カ月の許可期間経過後は1年ごとに許可期間の更新ができるようになります。

茨川市営住宅等条例の一部を改正する条例

優先入居の決定方法を見直すための改正です。

質疑 市営住宅の入居状況は。

答弁 入居率は約80%です。なお、金井前原団地については耐用年数超過等により新規入居停止中です。

教育福祉

審査結果 付託された6議案はすべて全会一致で可決しました。

教育福祉常任委員会協議会

市から次の事項について報告、説明がありました。

国民健康保険あかぎ診療所の利活用に係るサウンディング型市場調査の結果について

休止中の診療所の利活用について、2事業者から提案がありました。

A案は内科として、医師は事業者から派遣。診療は週1日。子育て支援事業を月1回実施するものです。

B案は総合診療もしくはは訪問診療として、医師は市が雇用。診療は週2日。施設の一部を訪問看護事業者に貸し付けるものです。

質疑 医師が派遣の場合、急病の対応は。新型コロナウイルスのワクチン接種は。

答弁 今回は広くアイデアを募ることが目的で、具体的なことは今後検討したいと考えています。

予算

令和4年度補正予算

審査結果 付託された4議案はすべて全会一致で可決しました。

一般会計補正予算(第16号) 公園維持管理事業

遊具の修繕及び老朽化による撤去のための予算を増額するものです。

質疑 赤城町にある沼尾川親水公園の遊具2基が撤去されるが、撤去後の考えは。 **答弁** 地元自治会等の意見を聞きながら公園の特性を生かした魅力ある空間づくりを視野に入れて整備を検討します。



撤去される遊具

美術館移転事業

美術館を第二庁舎1階に移転するため、移転事業費として1億2843万2000円の予算を追加するものです。令和6年3月中の開館を予定しています。

令和5年度 各会計予算

区 分			予 算 額
一 般 会 計			341億9,154万円 (修正可決後の額)
特別会計	国民健康保険	事業勘定	88億5,352万円
		診療施設勘定	450万円
	後期高齢者医療		12億7,144万円
	介護保険		90億9,837万円
	農産物直売事業		250万円
	伊香保温泉観光施設事業		1億7,649万円
	小野上温泉事業		1,939万円
	交流促進センター事業		1,578万円
企業会計	水道事業	収益的支出	19億7,197万円
		資本的支出	11億8,076万円
	下水道事業等	収益的支出	26億8,038万円
		資本的支出	25億9,403万円

令和5年度予算案の審査・審議

令和5年度茨川市一般会計予算は、議員から一部事業の予算を減額する修正案が提出され、修正案を賛成多数で可決しました。国民健康保険特別会計予算と介護保険特別会計予算は、賛成多数で原案のとおり可決しました。ほか7議案については全員一致で原案のとおり可決しました。

議員から提出され、可決した修正案の内容

一般会計の歳入歳出予算の総額、341億9300万円を341億9154万1000円に修正するものです。修正内容は次のとおりです。

① 顧問弁護士設置事業

134万4000円の予算を67万2000円に減額する。

理由 過去2年間の顧問

弁護士への相談件数は数件のみで、増員する弁護士の担当についても定かでないことから、増員する理由がないとして、報償費から増員分の予算を減額する。

② 政策戦略推進事業

78万7000円の予算を全額削除する。

理由 会議のロゴマーク

作成等と政策立案、行政課題の解決との関連性が乏しいため、当該事業の予算を全額削除する。

新年度予算審査の質疑の一部は次のとおりです。

一 般 会 計

ネーミングライツ収入

質疑 ネーミングライツを

導入している公共施設名とその収入金額は。また、令和5年度にネーミングライツの導入を予定している公共施設は。






答弁 総合公園陸上競技場

(瑞穂建設スタジアム)が年額55万円、武道館(宮田商会武道館茨川)が年額60万円、赤城総合運動自然公園(木暮組 スポーツパーク赤城)が年額40万円です。令和5年度についてはこれまでの経過も含めて検討中です。



導入されたネーミングライツ

主 な 新 規 事 業

出産・子育て応援事業  3,618万円	高齢者外出支援事業 3,196万円
住宅エコリフォーム 支援事業 1,200万円	しぶかわde創業チャレンジ 支援事業 656万円
店舗バリアフリー 改装等助成事業  615万円	渋Pay1% 応援金活用 学校図書充実事業  200万円
犯罪被害者等支援事業 128万円	若年がん患者在宅療養 支援事業 102万円
高齢者世帯IH調理器購入費等 助成事業 100万円	クリーンボランティア 活動支援事業  41万円
小中学校適正配置 推進事業  40万円	地域計画策定事業 17万円

顧問弁護士設置事業

質疑 顧問弁護士の相談件数の実績は。また、予算が昨年と比べ2倍となった理由は。

答弁 相談件数は、令和3年度が5件、令和4年度が6件です。予算の増額理由は、内部・外部通報の窓口設置を予定しており、増加が見込まれる相談の対応等、顧問弁護士を1名増員するためです。

政策戦略推進事業

質疑 庁内の政策立案、調査研究及び関係部署等との調整にロゴマークの作成は必要なのでは。

答弁 今後事業を進める中で、全庁一丸となり積極的に進めていくために必要であると考えます。

高齢者外出支援事業

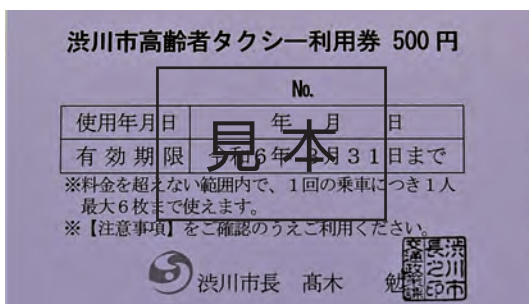
質疑 高齢者の移動支援のため、運転免許証を保有していない75歳以上の人にタクシー券48枚を交付しているが、1回の使用枚数上限が6枚である。なぜ6枚ま

でしか使えないのか。また、65歳以上を対象としたバス料金割引の実施方法は。

答弁 高齢者の移動手段として、タクシー以外の交通手段のご利用もいただくため等により、1回の使用枚数上限を6枚としています。バス料金割引については、各バス会社で導入している制度を利用して、半額補助をしていきたいと考えています。

地域要望等緊急対応事業

質疑 各行政センターに一律150万円の予算が計上されているが、地区の面積、人口、前年度実績等を考慮



タクシー利用券

して事業費を計上すべきではない。

【答弁】 あくまでも緊急に対応しなければならぬための予算です。本事業で対応することのできない事業は、各担当部署にて対応します。

しづかわ電子地域通貨事業

【質疑】 電子地域通貨「しづかわ」の令和5年度チャージ金額の想定額は。

【答弁】 チャージ金額見込み額は、1億円を予定しています。決済額の1%を将来世代の投資として、渋川市子ども夢基金に積み立てます。

JR渋川駅周辺整備事業

【質疑】 既に供用が開始されたが、北側出口付近が大変混雑している。また、広場に隣接する駐車場の出入りの安全が確保されていない。改善する考えは。

【答弁】 1月18日から一般公共交通の供用を開始しました。歩行者や駐車場等の安全については、警察等関係機関と協議を行ってきま

した。新たな横断歩道の設置等は今後の利用状況により判断していきます。



整備が進む渋川駅

資源ごみ回収事業

【質疑】 雑がみの回収を市役所で行っているが、資源ごみや雑がみ回収は自治会や育成会等に任せるべきでは。

【答弁】 既に自治会等で行っていたら資源ごみ回収の中で、雑がみの回収量が少ない実態を踏まえ、市民に周知、分別習慣のきっかけとして市役所で回収しています。今後、市役所で雑がみ回収を続けていくということではなく、元の形に戻していきたいと考えています。

出産・子育て応援事業

【質疑】 伴走型相談支援とは具体的にどのようなものか。

【答弁】 妊娠届出時から出産子育てと継続的に寄り添って相談、情報発信、面談等を行うことにより、一人ひとりのニーズに即した支援を行います。育児不安の軽減と子どもの健やかな成長を支援します。

じん芥処理事業

【質疑】 令和6年度から、プラスチックごみの分別収集開始に伴い、プラスチックごみ用の袋を作成することのことが、プラスチックごみの収集方法は。

【答弁】 令和6年度から収集方法が3種類に変更になります。プラスチックごみの収集方法は検討中です。ごみカレンダー等で周知を図ります。

農業振興費

【質疑】 令和5年度予算に農業経営を圧迫する生産資材等の高騰に対する支援対策が計上されていない。大変

厳しい農業経営が続いているが、支援対策を行う考えはあるのか。

【答弁】 農業経営が厳しい状況であることは承知しています。国の交付金等の財源も活用しながら対応します。

小中学校不登校対策事業

【質疑】 不登校の現状は。

【答弁】 不登校児童・生徒は増加しています。ウォームアップティーチャーを市内8校に配置し、居場所づくりや学校復帰を支援しています。

国民健康保険特別会計

生活習慣病重症化予防事業

【質疑】 AIを活用した受診勧奨とは。また、この事業の効果の見込みは。

【答弁】 糖尿病・高血圧・脂質異常を対象として、AIを活用し、受診勧奨対象となる未治療者、治療中断者を抽出し、対象者の状況に応じた受診勧奨を行います。重症化を防ぐことで、将来的な医療費の抑制や、健康

寿命の延伸につながりたいと考えています。

介護保険特別会計

フレイル予防推進事業

【質疑】 「タッチでチェック！脳活体験会」及び「アタマカラダジム」の事業内容は。

【答弁】 脳活体験会は、認知症を理解する講演会、タブレットを使用した脳の健康度チェック、脳機能を刺激する運動プログラムの体験を行います。アタマカラダジムでは脳活体験会参加者を対象にウェブサービスによる認知症リスク低減プログラムを実施します。

令和5年度
タッチでチェック！脳活体験会

人生100年時代をより自分らしくアクティブに過ごすためには、身体だけでなく脳の健康を保つことも重要です。学びや新しいことにチャレンジして、脳を活性化しませんか。

学んで 講演会で認知症の正しい情報を学びます。

知って 脳の健康度を測定し、自分の状態を知る！
タブレットを使い「ゲーム感覚で楽しくチェック！」
※判断を目的としたものではありません

体験を! 有酸素運動を行いながら、脳の認知機能に関わる場所を刺激！椅子に座って行います。

今年度から開始される脳活体験会